

川崎縦貫道路等の早期整備について



(左より) 寺尾副会長・小田副市長・山田会頭(会長)・城島衆議院議員・和田副会長・工藤副会長

平成22年12月27日

国土交通大臣
馬淵 澄夫 殿

川崎商工会議所 会頭 山田 長満
川崎市の幹線道路の整備を促進する会
会長 山田 長満
川崎市長 阿部 孝夫

川崎縦貫道路等の早期整備について(要望)

川崎市は首都圏の中央に位置し、優れた立地性を持つ拠点都市として首都圏機能の強化、連携を図るうえで重要な役割を担っているところです。

殊に、川崎臨海部は、東京湾アクアライン、東京湾岸道路、川崎縦貫道路等との首都圏交通クロスポイントとしては、未だ脆弱なため、羽田空港の24時間国際拠点空港化及び東アジアのハブポートを目指す京浜三港連携強化に大きな課題となっており、臨海部を始めとした主要企業、団体からは早急な取組を求める声が多く聞かれております。

これらの取組は、その効果が首都圏全体に及ぶものであり、その具体化にあたっては、国の責任において必要な財源を十分に確保し、重点的な投資を図ることが不可欠であります。

つきましては、我が国の国際競争力を強化し、市内の交通混雑の解消や沿道環境改善にも寄与する次の3点につきまして、ご高配を賜りたくお願い申し上げます。

1. 川崎縦貫道路Ⅱ期計画について、東京外かく環状道路東名以南との一本化を含め幅広く検討を進め、早期に計画の具体化を図ること。
2. 川崎縦貫道路Ⅰ期事業の街路計画を基本に、国道409号の一般部の先行整備や川崎駅周辺の交通円滑化のための国道15号～国道1号間のバイパス化などの整備に必要な予算を確保し、早期実施を図ること。
3. 羽田連絡道路の整備について、早期にルート・構造の検討を進め、国主体による事業として着手するとともに、一般国道357号について、早期に効果が発揮される整備手法等を検討し、早急な対策を講じること。

以 上